

塗料選定ガイド

外壁/屋根用塗料のご案内 — 工場編 —

Q:外壁、屋根塗料の見積りをお願いしたら様々な種類が出てきました。どのような塗料を選択すれば良いのでしょうか？

A:塗料にはそれぞれ特徴があります。
建物の状況や現状の悩み、今後の計画によって
選択する塗料は異なります。

光触媒	ビュアクリル	フッ素	シリコン	ウレタン	アクリル
塗料の特長 汚れ防止を優先する方にオススメ。太陽光と雨の自然の力でセルフクリーニング効果があり、環境にも優しい。	塗料の特長 高耐久性でありながら、防水に必要な高弾性を有している非常に優れた塗料。	塗料の特長 耐久性を優先する方にオススメ。長期間にわたり変退色、艶引けがなく、耐久性において最高レベル。	塗料の特長 価格と機能のバランスが良い塗料。カラーバリエーションも豊富。	塗料の特長 一般的によく使われる塗料で価格と機能のバランスが良い塗料。	塗料の特長 値段が安く、定期的に塗り替えを楽しみたい方向きの塗料。
デメリット コストが高めで、光が当たらない場所は、効果が薄くなる。塗膜が硬いため、モルタル壁にはオススメしません。	デメリット トータルメリットは大きいですがコストは高め。純度の高い樹脂を使用した水性塗料の為、冬場の施工には工期がかかる。	デメリット コストが高めで、塗膜も硬いものが多く、ひび割れしやすいので注意が必要です。	デメリット 次の塗り替え時期までの十分な耐久性がなく、建物を守り続けるのに不十分な場合もある。	デメリット 耐久性が劣るので長期的な外観維持には不向き。	デメリット 耐久機能が有効な間は防水機能があるが、外壁を保護する塗料としては、オススメできない。
耐久性の目安 約10年～	耐久性の目安 約10年～	耐久性の目安 約10年～	耐久性の目安 約7年～10年	耐久性の目安 約5年～7年	耐久性の目安 約3年～5年

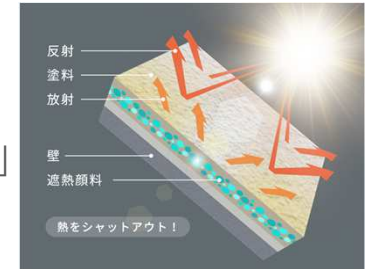


塗料の樹脂（素材）だけでもたくさんの種類があり、更には様々な機能やオプションなども存在します。

お客様のご希望を考慮したご提案をさせていただきます。

Q:工場が暑いのでなんとかしたい

A:遮熱塗料（遮熱顔料を含んだ塗料）をオススメします。
温度上昇の原因となる太陽光の「近赤外線」を反射、屋根の温度上昇・室内への熱伝達を最小限に抑制します。



Q:屋根からの雨漏れをなんとかしたい

A:防水塗料をオススメします。
錆びによる劣化やひび割れ、スレート屋根の欠けやボルト穴に対しても補修可能です。
伸縮性のある塗料をつかえば夏場の伸縮にも追従し新たに起こるひび割れによる雨漏れも防ぎます。



Q:美観を保ちたい

A:低汚染塗料をオススメします。
紫外線により分解されない性質を持ち、緻密で強靱な「無機成分」を配合した塗料です。
親水性でもあり付着した汚れも落ちやすく長期間美しさを維持します。



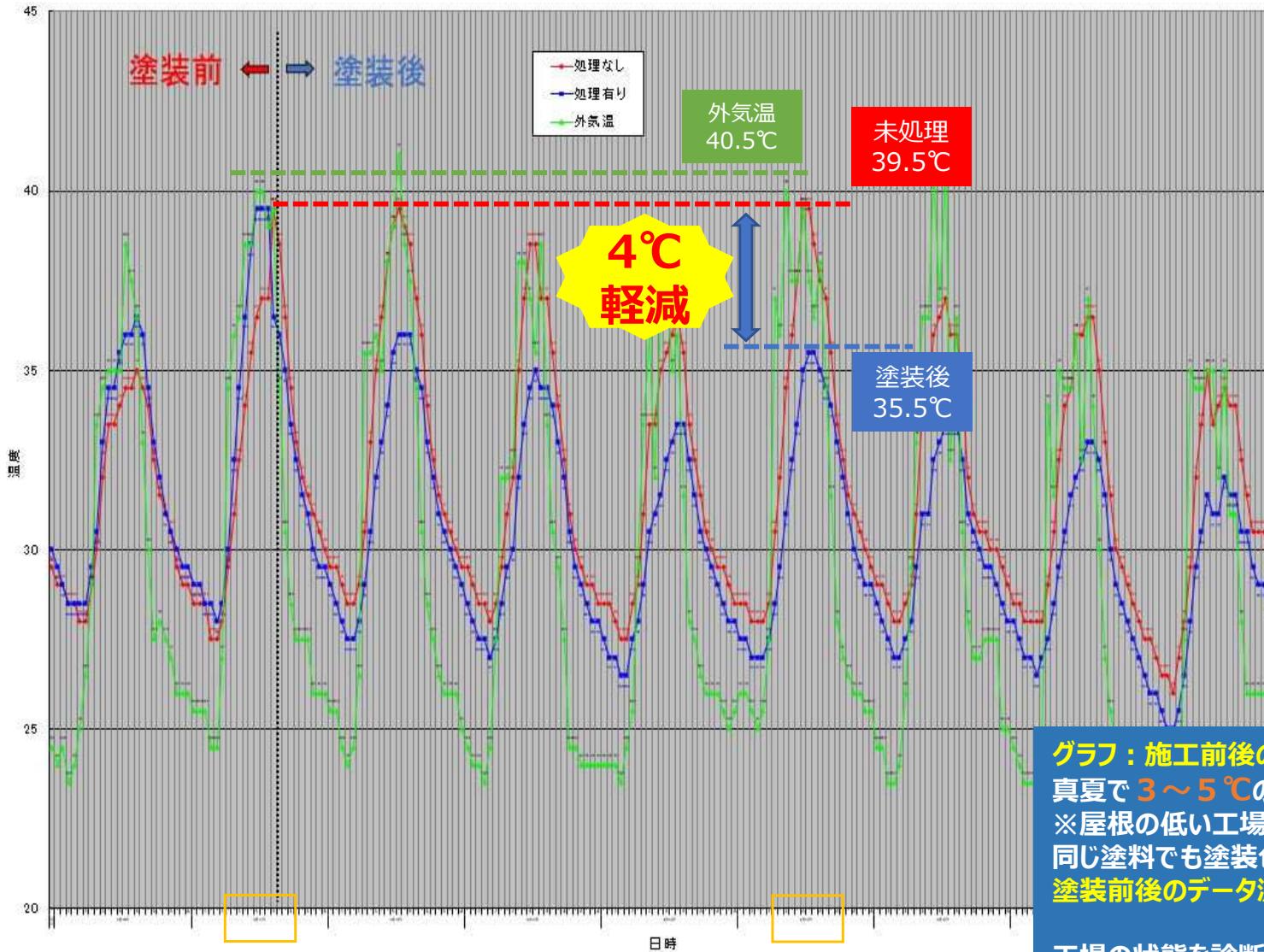
設計・施工、一括で承ります！ ご相談はコチラまで



本社 機工部 福永、大西、小川
(052-739-2779)

遮熱塗装 効果実例

屋根遮熱塗装温度比較：地上1.5m付近（工場高さ6m）

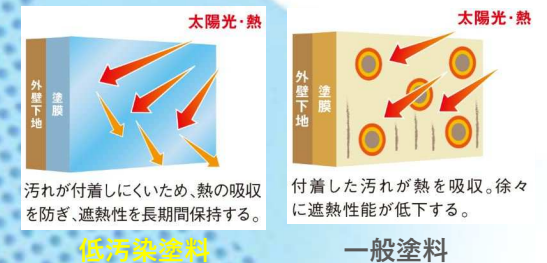


Q:工場内温度を下げたいのですが？

A:遮熱塗装をすることで太陽光を反射させ屋根の表面温度を大幅に低下させます。
 (約15~20°C)
 工場内に伝わる熱量が下がるので、室温の上昇も抑えることができます。(約3~5°C)

Q:遮熱効果は維持できる？

A:耐用年数期間には効果ありますが塗膜表面が汚れてくると太陽光を反射できず遮熱効果が損なわれます。
 洗浄の実施や、低汚染塗料を使用すると長持ちします。



グラフ：施工前後の作業エリア温度変化

真夏で3~5°Cの遮熱効果が期待できます。
 ※屋根の低い工場ほど、効果大です
 同じ塗料でも塗装色によっても効果が変わります。
 塗装前後のデータ測定も実施いたします。

工場の状態を診断し
 最適な方法を一緒に考えましょう。

設計・施工、一括で承ります！ ご相談はコチラまで

本社 機工部 福永、大西、小川
 (052-739-2779)

